



芸術祭風景

今年も残すところあとわずかです。今年は皆さんにとって、どのような年になったでしょうか。

百合丘は55分授業が始まり、授業時の携帯電話、校内でのピアス着用禁止指導などが始まりました。新しいことを始めるときは、人の気持ちが多まると、その効果が表れるのに時間がかかることがあります。それでも百合丘の一つの方向性として打ち出した方針です。この改革の効果、課題を検証しながら新たな年に進んでいきたいと思ひます。

さて、11月27日に「百合丘芸術祭」が開催されました。音楽クラスのハンドベルの発表、美術クラスの文房具、お面の作品展示、書道クラスの作品展示とパフォーマンスが披露されました。それぞれの成果の完成度には感心するばかりでした。また、美術、書道選択の生徒による学習内容の紹介は、よく工夫されており、物おじしないその姿勢と、エンターテインメント性も見事なものでした。百合高生の「楽しむ力」は高く、日常を楽しめるという能力はポテンシャルの高さでもあると思ひます。また、観客として創り上げた雰囲気もとても温かいものでした。パフォーマンスの不具合を温かく見守り、受け入れてくれるのも百合高生。これからも自分の日常と他者を大切にしながらその能力を高めていってほしいと思ひます。

さて、今年を表現する一字漢字は「災」でした。校内に張り出された生徒予想の今年の漢字（書道クラス）でもズバリ当てた作品がかなりありました。西日本豪雨や北海道地震、それに相次いだ台風や記録的な猛暑が1年を物語っています。本校でも台風24号の影響でグランド外の大木が折れ、対応に追われました。この「災」の字は川と火を表しているそうです。しかし災いは自然ばかりではありません。日々を見直し「人災」を起こさないよう、気を引き締めて「災」を「幸」に変えられるよう生きていきたいものです。

とにかかにも、皆さま、今年一年お疲れさまでした。新年もよろしくお願ひします。

